

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【静岡県】

学校名【沼津市立第二中学校】

|                    |  |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ            | I ・ III ・ IV ・ V   |
| 2 実施対象者<br>(学年・人数) | 全校生徒対象 (全6学級) ・ 118名   |
| 3 展開の形式            | (1) 学校における活動<br>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )<br>② 行事名 ( )<br>③ その他 ( )<br>(2) 地域における活動<br>① イベント名 ( )<br>② その他 ( )  |
| 4 目標<br>(ねらい)      | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関して学習を深めること、また、その学習を通してよりスポーツに興味関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質を育てること。そして、2020東京オリンピック・パラリンピックをより身近なこととして捉えられるようになること。  |
| 5 取組内容             | 総合的な学習の時間を用い、全10回でオリパラ教育を実施した。また、内容の違いによって前半部と後半部の2部制で展開した。<br><b>◎前半部 (1~6回目) について</b><br>6人の先生方で1人1テーマ (計6テーマ) を設定し、全6学級で先生方がローテーションをしながら授業を行った。実施各テーマとその概要については、以下の通り。<br>※テーマの設定は、オリパラにまつわることという条件で先生方の興味関心を元に行った。<br><br>①オリンピックと国際理解、国際親善<br>発展途上国では、スポーツをやりたくてもできない環境や、指導者がいない現状がある。日本は、途上国が国際舞台 (オリンピック) で活躍できるために多くの日本人を派遣している。カンボジアで水泳のナショナルチームヘッドコーチを務めた沖田咲さんの活動の様子知り、日本が行っているODAの理解を深めた。<br>※沖田咲さんには、ZOOMにて登場していただいた。沖田さんとは担当教諭が青年海外協力隊で派遣された際の知人。 |

## ②オリンピック聖火について

オリンピック聖火の歴史について触れた後、東京2020オリンピックにおける聖火がどのように採火され、どのような人々によって繋がれていくのかを学んだ。また聖火リレーは、走る人だけのものではなく、みんなで参加し心をつないでいくオリンピック・パラリンピックのシンボルであることも学んだ。

## ③オリンピックと環境

JOCの環境スローガン「Think Globally, Act Locally」と取り組みを紹介し、地球温暖化とスポーツのかかわりを説明した。そして、新国立競技場のPVを見て、これからの地球温暖化対策は自然の力を利用していくことが重要であると学んだ。

## ④オリンピックと日本経済の発展・レガシー

IOCの定める5つのオリンピックレガシーについて学び、1964年東京オリンピックにおけるレガシーを振り返ることで、東京2020にはどんなレガシーができるのかを考えた。

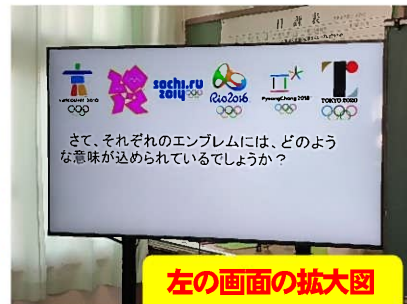
## ⑤オリンピックにおける歴史的に著名な選手

オリパラ大会を通して国際理解や世界平和に貢献した選手を取り上げ、その人物と事象について学習した。一例としては、シドニー大会でエリック・ムサンバニ選手が100m自由形を泳ぎ切ったことに関して、会場全体が温かい拍手をした様子を見て、オリンピックが世界平和の象徴となることを学んだ。

## ⑥オリンピックのエンブレムについて

五輪マークを導入に、オリンピック・パラリンピック開催の意義や、込められた想いを色・配置・輪の数から考えた。また、各大会のエンブレムを取り上げ、エンブレムに開催国の特徴や、どのような大会にしたいか、想いが込められているのか付箋を使って読み解いていった。

### テーマ別授業の様子（写真）





沖田さんに出て  
いただいたとき  
の様子

## ◎後半部（7～10回目）について

### スケジュール

|        |                   |
|--------|-------------------|
| ⑦7月30日 | 体育館にて⑩の趣旨説明 @体育館  |
| ⑧8月20日 | 各学級にて種目検討①        |
| ⑨8月27日 | 各学級にて種目検討②        |
| ⑩8月28日 | 二中 みんなのスポーツ大会（仮称） |

### ⑦7月30日の実施内容

- 体育館でパラリンピックの魅力について、「二中 みんなのスポーツ大会」をどのように取り組むかの概要説明の講習会を行った。
- 今大会のコンセプトとしては、「練習が不要であること」、「苦手な人でも誰でもできる」とした。
- 実施種目についてどのような種目なのか映像などで確認した後、各学級がどの種目の運営内容を検討するかじゃんけんで決定した。なお、実施種目について、密を避けたり、学校内でできることを考慮したりするとパラ種目で6種目を揃えることが困難であったため、アダプテッドスポーツの概念を取り入れ、種目数を整えた。種目については下記参照。

#### 実施種目

|     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 1年生 | ・ ティーボール    | ・ 車椅子スラローム |
| 2年生 | ・ シットイングバレー | ・ ブラインドリレー |
| 3年生 | ・ ゴールボール    | ・ ボッチャ     |

※当日の大会運営は各学級担任が行う。

### ⑧⑨8月20、27日の実施内容

- 各学級にて運営する種目に関してルール、実施方法などを検討。その際、パラリンピックの「公平」の価値を重視。(PLAN)
- 検討したルールに沿って学級で実際に実施。(DO)
- 3学年の生徒全てが楽しめるものになっているか学級で評価。(CHECK)
- 必要があれば、ルールの再検討をして確定。(ACTION)

## ⑩8月28日の実施内容

### 日程表

|             | 1-1                          | 1-2                          | 2-1                          | 2-2                          | 3-1                          | 3-2                         |
|-------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 8:00~8:15   | 出席確認・大会運営準備                  |                              |                              |                              |                              |                             |
| 8:15~8:20   | アンケート記入                      |                              |                              |                              |                              |                             |
| 8:20~8:30   | 開会宣言                         |                              |                              |                              |                              |                             |
| 8:30~9:15   | 3-2 企画<br>ポッチャ<br>3-1.3-2 教室 | 1-1 企画<br>T ボール<br>グラウンド     | 1-2 企画<br>車椅子スラローム<br>1 階廊下  | 2-1 企画<br>シッティングバレー<br>体育館   | 2-2 企画<br>ブラインドリレー<br>グラウンド  | 3-1 企画<br>ゴールボール<br>体育館     |
| 9:30~10:15  | 3-1 企画<br>ゴールボール<br>体育館      | 3-2 企画<br>ポッチャ<br>3-1.3-2 教室 | 1-1 企画<br>T ボール<br>グラウンド     | 1-2 企画<br>車椅子スラローム<br>1 階廊下  | 2-1 企画<br>シッティングバレー<br>体育館   | 2-2 企画<br>ブラインドリレー<br>グラウンド |
| 10:30~11:15 | 2-2 企画<br>ブラインドリレー<br>グラウンド  | 3-1 企画<br>ゴールボール<br>体育館      | 3-2 企画<br>ポッチャ<br>3-1.3-2 教室 | 1-1 企画<br>T ボール<br>グラウンド     | 1-2 企画<br>車椅子スラローム<br>1 階廊下  | 2-1 企画<br>シッティングバレー<br>体育館  |
| 11:30~12:15 | 2-1 企画<br>シッティングバレー<br>体育館   | 2-2 企画<br>ブラインドリレー<br>グラウンド  | 3-1 企画<br>ゴールボール<br>体育館      | 3-2 企画<br>ポッチャ<br>3-1.3-2 教室 | 1-1 企画<br>T ボール<br>グラウンド     | 1-2 企画<br>車椅子スラローム<br>1 階廊下 |
| 12:20~13:00 | 給食                           |                              |                              |                              |                              |                             |
| 13:00~13:10 | 昼休み                          |                              |                              |                              |                              |                             |
| 13:15~14:00 | 1-2 企画<br>車椅子スラローム<br>1 階廊下  | 2-1 企画<br>シッティングバレー<br>体育館   | 2-2 企画<br>ブラインドリレー<br>グラウンド  | 3-1 企画<br>ゴールボール<br>体育館      | 3-2 企画<br>ポッチャ<br>3-1.3-2 教室 | 1-1 企画<br>T ボール<br>グラウンド    |
| 14:10~14:25 | 片付け                          |                              |                              |                              |                              |                             |
| 14:30~15:00 | 振り返り用紙記入                     |                              |                              |                              |                              |                             |
| 15:00~15:10 | 掃りの会                         |                              |                              |                              |                              |                             |
| 15:10~15:35 | 学級練習                         |                              |                              |                              |                              |                             |
| 15:40~16:15 | 放課後の活動/部活動                   |                              |                              |                              |                              |                             |

### 実施種目に関して検討・工夫した主な内容

#### ○ティーボール

- ・バッターが進塁した場所ごとに加点した。ランナーを置くことがなく、専門知識がなくても加点できる。
- ・バットゾーンを置くことで、バットを投げてしまうなどの危険性が軽減した。

#### ○車椅子スラローム

- ・車いすの使い方をしっかり身につけられるように行った。
- ・4 コース作り、リレー形式で行った。
- ・前進、後進、カーブなど、車いす操作の難しさを体験できる複雑なコース設定をした。

#### ○シッティングバレー

- ・生徒全員が活躍できるよう、サーブ時にローテーションを行い、返球を必ず3 回目に行うようにした。
- ・ラリーを続けるため、相手からのボールはキャッチしても良いとした。
- ・スパイクをするとボールをとれなかったため、ネットの高さを上げて返球が山なりの軌道になるようにした。

#### ○ブラインドリレー

- ・「ブラインドマラソン」を参考に、「ブラインド借り物リレー」を実施。ガイドランナーとブラインドランナーが協力し、障害物を乗り越えて借り物競走をリレー形式で行った。
- ・ガイドの声掛けをより具体的に分かりやすく行うようにした。
- ・コースに長さや障害物の数など、競技難易度と時間のバランスを工夫した。

### ○ゴールボール

- 位置を把握するために体育で使うマットを用い、そこを守備時に動ける範囲とした。それによって転がったときの床への衝撃もなくすことができた。
- ボール係、得点係、実況係を設け、プレーをしない生徒も役割を持ってゲームに係われるようにした。
- 役割カードを作成し、各役割で重要なことを明確にした。  
(If possible を参考にした)

### ○ボッチャ

- ボールに近いチームから投げるルールを分かりやすくするために交互に投げるように変えた。
- 不自由さを感じられるように、椅子に座って投げることを統一した。
- コートサイズを教室内に収まるように縮小した。

## 活動の様子 (写真)

### ○ティーボール



### ○車椅子スラローム



### ○シッティングバレー



### ○ブラインドリレー



○ゴールボール



マットで位置を把握



I'm possible を利用

○ボッチャ



全員椅子から投げる



静岡新聞記者からの取材中

生徒が考えたパラ競技

二中 みんなのスポーツ大会

二中(川村幸弘校長)は8月28日、総合的な学習の時間(中2)に、総務部が企画した「みんなのスポーツ大会」を開催した。今年度は保健体育科の授業で、パラリンピック競技を学ぶ機会として、生徒が考えた競技種目を競った。各校から2名ずつ、計6名が参加し、校内で練習を行った。8月28日の大会では、パラリンピック競技のルールを学び、実際に競技を行った。生徒は「パラリンピックは、障害のある人も障害のない人も一緒に楽しめるスポーツだ」という考えを持って参加した。各校からの参加者は、大会で活躍し、賞状や賞品も授けられた。



大会の競技種目 シッティングバレーを行う生徒達  
=二中体育館で

今年度は保健体育科の授業で、パラリンピック競技を学ぶ機会として、生徒が考えた競技種目を競った。各校から2名ずつ、計6名が参加し、校内で練習を行った。8月28日の大会では、パラリンピック競技のルールを学び、実際に競技を行った。生徒は「パラリンピックは、障害のある人も障害のない人も一緒に楽しめるスポーツだ」という考えを持って参加した。各校からの参加者は、大会で活躍し、賞状や賞品も授けられた。

大会では、各校から2名ずつ、計6名が参加し、校内で練習を行った。8月28日の大会では、パラリンピック競技のルールを学び、実際に競技を行った。生徒は「パラリンピックは、障害のある人も障害のない人も一緒に楽しめるスポーツだ」という考えを持って参加した。各校からの参加者は、大会で活躍し、賞状や賞品も授けられた。

大会では、各校から2名ずつ、計6名が参加し、校内で練習を行った。8月28日の大会では、パラリンピック競技のルールを学び、実際に競技を行った。生徒は「パラリンピックは、障害のある人も障害のない人も一緒に楽しめるスポーツだ」という考えを持って参加した。各校からの参加者は、大会で活躍し、賞状や賞品も授けられた。

沼津朝日への掲載

※保健体育(体育理論)での学習については、例年行っているも

|               |   |
|---------------|---|
|               | <p>のであるため今年度は報告を割愛。</p> <p>※年度当初に予定されていた学校祭体育の部でのオリパラにちなんだオープニングセレモニー、ブラインドリレーについては、新型コロナウイルスの影響による学校祭の規模縮小のため実施せず。</p> <p>※サッカーの単元でのブラインドサッカーについては、3密を避ける方策が見つからないため、今年度は実施せず。</p>   |
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 先生方の得意分野を生かしてテーマ学習を行ったことでオリンピック・パラリンピックに多角的に捉えることができ、大会との関わり方が色々あることを学習した。</li> <li>• 実際に各種パラ競技を体験することで、生徒たちがパラ種目そのものに健常者と障害者の垣根を外す可能性があることを実感した。</li> <li>• スポーツが苦手と思っている生徒にとっても活躍できる場面があり、スポーツを楽しむことができた。→生涯にわたって運動に親しむ資質を育てることにつながる。</li> <li>• 自分たちの競技の体験とパラアスリートが障害を持ちながらも競技レベルを向上させている事実を比較し、パラアスリートたちの心の強さを感じることができた。</li> </ul> <p><u>成果の参考となった生徒の感想</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• パラリンピックは体が不自由な人のやる特別なスポーツだと思っていましたが、そんなことはなかったです。オリンピックよりも難しい種目があってびっくりしました。パラリンピックがあることによって不自由な人でも、みんなと触れ合うことができるのでよいと思いました。</li> <li>• オリパラは僕達に夢や希望を与えてくれる存在で大切ななと感じました。選手たちの努力やオリンピックの目的などを学びました。また、スポーツ大会で実際にいろんな種目をやり、よりパラリンピックの魅力やおもしろさを知りました。</li> <li>• パラリンピックは「障害者の競技」という考えだったけれど、実際は「誰にでもできる競技」だと思った。今日やったスポーツは誰がやっても楽しめること知れた。素晴らしいスポーツばかりなのでもっと多くの人に知ってほしい。</li> <li>• どんなことがあっても、心が強ければ乗り越えて新たな自分を見つけられる。そのためには周りの協力が必ず必要になる。だから自分のためにも相手のためにも受け入れることが大切。</li> <li>• すべての人が平等にプレーできるので、そのような意味では平和な社会（いじめ／偏見のない社会）につながる素晴らしいものと感じました。オリンピック・パラリンピックは世界全体で楽しむものなので、いつか世界全部の国でやれるようになれば、世界平和につながるということを学びました。また、幅広く交流を持てると感じました。</li> <li>• 体の不自由な人が行うスポーツなのだから、私にはとてもきついものだった。こう考えてみると体に障害を持った選手たちがどれだけ努力を重ねてあれほど上手くなったのか、どれだけ心が強いのかを実感できる。世界には、様々な障害を持った人々がいる。だから、私はその人たちの行動の手伝いや心の支えになりたい。少しでも生活が楽になれるように、また障害者の希望の光となれるように優しく対応したい。WHO I AM で障害</li> </ul> |

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | 者の心境を知ったから。   |
| 7実践において工夫した点(事業の特色) | 小規模な学校ということもあり、学校全体を巻き込んで全校での取り組みとした。それによってすべての先生方が興味を持って楽しみながらオリパラ教育を実施してくれた。  |
| 8主な課題等              | <p>前半部については、どの学校規模でも実施出来る。課題は、各テーマを担当する先生方がローテーションできる時間割になっているか、先生方のテーマがそれぞれ違うものになっているかを調整する必要があること。</p> <p>後半部については、学校規模や活動単位、スペースの確保を配慮しつつ、種目の検討をする必要がある。パラ種目のみで開催をしようとする種目数に限界があるかも知れない。</p> |
| 9来年度以降の実施予定         | 本校は9月1日に新国立競技場へパラ陸上を全校生徒で観戦に行く予定であった。来年度こそは、パラリンピックの観戦に行きたい。合わせて、パラ種目に参加した選手(昨年度に引き続き若山選手を希望)の講演会を実施したい。  |



(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

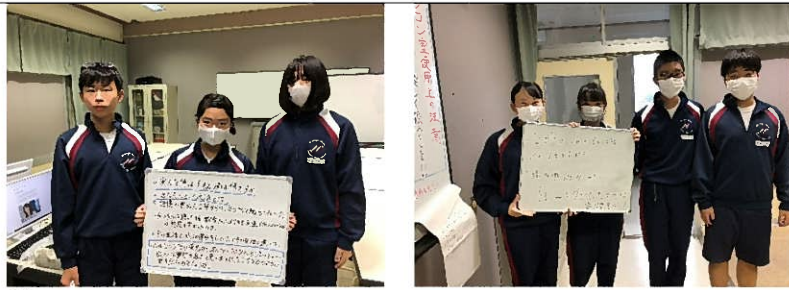
事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【静岡県】

学校名【沼津市立第二中学校】

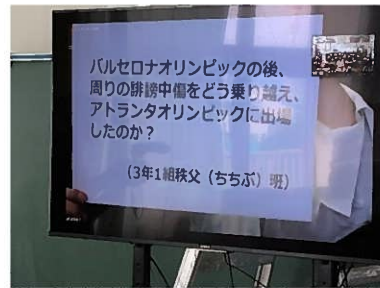
|                    |  |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ            | I ・ V  |
| 2 実施対象者<br>(学年・人数) | 3年生(全2学級)・35名  |
| 3 展開の形式            | (1) 学校における活動<br>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )<br>② 行事名 ( )<br>③ その他 ( )<br>(2) 地域における活動<br>① イベント名 ( )<br>② その他 ( )  |
| 4 目 標<br>(ねらい)     | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関して学習を深めること、また、その学習を通してよりスポーツに興味関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質を育てること。そして、2020東京オリンピック・パラリンピックをより身近なこととして捉えられるようになること。  |
| 5 取組内容             | ①9月17日 オリンピック名言特集作成<br>オリンピック・パラリンピックで生まれた名言について、各自で気になったものをピックアップし、どのような場面で生まれたものなのか、どのような人物が残したものなのかを調べ、オリンピック・パラリンピックへの興味関心をより高めた。<br><br>②10月1日 岩崎恭子さんについて知る<br>岩崎恭子さんがどのような人物なのか、バルセロナオリンピック出場から現在に至るまでを学習した。その際に、中学2年生の時に金メダルを取得したこと、その後悩んだ末にアトランタオリンピックに出場ことなどに焦点を当てて、当時の岩崎さんがどのような思いをしていたのか思いを巡らせた。<br><br>③10月8日 岩崎恭子さんへの質問事項を考える<br>前時学習した際に、より深く知りたいことを感じたことについて調べ学習をし、それでもはっきりとしないこと、さらに興味が湧いたことについて質問を作成した。<br>※ここで作られた質問を事前に岩崎さんに送り、オンライン授業についてはこれらの質問を元に進めていただいた。 |



#### ④10月16日 岩崎恭子さんオンライン授業

以下が、岩崎さんにお答えいただいた質問事項

- オリンピックに出ることが決まった時の周りの反応はどうでしたか？
- 1日の練習量はどれぐらいですか？（バルセロナオリンピック出場時）
- 中学生当時の二中のイメージはどんなでしたか？
- 水の中以外でトレーニングしていたことはありますか？
- バルセロナオリンピックの後、周りの誹謗中傷をどう乗り越え、アトランタオリンピックに出場したのか？
- バルセロナでの栄光から次のアトランタへの様々なプレッシャーがあったと思いますが、そこからどのように立ち直ったのでしょうか？
- 岩崎さんにとって、世界の舞台はどんな所だったのか。
- 実力を伸ばす秘訣は何ですか？
- カリフォルニアに行き急成長したと知ったのですが、そこで1番強く学んだことは何ですか？（バルセロナオリンピックとアトランタオリンピックの間での出来事）
- 人生でこれは失敗したなど思うことについて教えてください。
- これからの人生の抱負はありますか？
- 引退のきっかけが病気及び闘争心の喪失と聞きましたが、それらがなければ競技人生を続けていましたか？ また、今の人生における夢はありますか？
- 母になって変わったことは何ですか？



#### 6 主な成果 以下、生徒の感想です。

- 話を聞いて、辛いことがあっても前向きに笑顔でいれば大丈夫ということが分かりました。自分が目標にしている後のことに悩んでいるのではなく、自分が今やっている目の前のことに集中することが大事だとも分かりました。私たちが考えた質問に丁寧に答えてくださりありがとうございました。

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>•「オリンピック金メダリスト」というすごい人が、私を書いた質問に答えてくださったことがとても嬉しかったです。「自分を信じて」という言葉が、受験の影響でとても悩んでいた私にとって、とても大切な言葉となりました。おかげで心がリセットできたような気がします。</li> <li>•調べても出てこないような情報がたくさんあり、写真まで見てくれて、とても嬉しかったです。自分よりも年が下の時から、世界で活躍していたと考えるととてもすごかったんだと改めて感じました。やっぱり目標を持つことがとても大切なんだなと思うことができました。</li> </ul> |
| 7実践において工夫した点(事業の特色) | <p>岩崎さんのことを知らない生徒もいるので、事前学習を丁寧に行い、オリンピックをより身近な存在として捉えられるように試みた。</p> <p>オンライン授業であること、受講者が少数であることを生かし、こちらで用意した質問を元に授業内容を組み立てていただいた。</p>  |
| 8主な課題等              | <p>オンライン授業を行うのが双方ともに初の試みであったため、工夫の余地がいくつかあった。もう少し双方向のやりとりになるように複数回の事前打合せをした方がより刺激的な授業となったと考えられる。また、授業自体も複数回実施出来ると、より岩崎さんと生徒たちの距離が縮まり、オリンピックを身近に感じる事ができたと考えられる。</p>   |
| 9来年度以降の実施予定         |  |